

施策評価調書

施策名	4-3-1	町内商業の活性化		施策を取り巻く環境変化	・商店街については、後継者の問題や、モータリゼーションの進展等により、衰退しています。 ・JR宝積寺駅のイベント等により、町外からの誘客が増加しています。 ・宝積寺駅東西連絡路の完成により、利便性が向上し、ちよっ蔵広場と合いました動線や景観形成により、誘客にもつながり、滞留できる環境が形成されました。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 55			
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業 担当		
		リーダー	石川 正佳		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-14.7% 第34位/全36項目(町内の魅力PR)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	41.0% 第26位/全36項目(町内の魅力PR)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:ちよっ蔵広場の利用者数(人)	22年度実績 13,755人	計 画	15,000人	16,000人	18,000人	19,000人	20,000人
指標2:フィルムコミッション団体の設立支援	未設立	計 画	準備会	設立			
指標3:		計 画					
指標4:		計 画					
指標5:		計 画					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	18,075			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

自己評価(部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	・世代交代による商店街のあり方を議論し、常に問題意識を共有しながら、地域でできるイベント等を自らが中心となって、定期的に開催できるように誘導して行きます。 ・ちよっ蔵広場を生かした商業の活性化を図るため、衰退した商店街とは一線を引き、高根沢ブランドに特化した商品の販売等も視野に入れて、活性化を図って行きます。	・現在の消費者ニーズが何であるか捉えることにより、気付きがビジネスとなってきますので、事業者自らが、現在の方法に強く問題意識を持つ必要があります。そのためにも、商工会における指導力の増強を図ります。
総合評価(町長)	総合評価	
	前期計画期間中において、宝積寺駅東口やちよっ蔵広場、これらの施設整備と並行して、これからの中心市街地活性化に必要な人材育成、組織づくりとして、TMO設立への支援を行い、TMO高根沢によるちよっ蔵広場の管理運営が、開始されているが、この賑わいからどう拡がりを繋げていくのか、本来商工会や商店街経営者が真剣になって取り組むべき課題だと考える。 また、観光に関しても今後どう展開していくのか、町として支援すべきことを見極め、選択と集中が図られた施策展開を検討していくこと。	